

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2008-200284(P2008-200284A)

【公開日】平成20年9月4日(2008.9.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-035

【出願番号】特願2007-39892(P2007-39892)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 7

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月19日(2010.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域が形成され、該遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が流下可能な遊技盤と、前記遊技領域へ遊技球を発射するための発射装置と、前記遊技領域に配設され、該遊技領域を特定入球口が設けられる第 1 の遊技領域とその他の第 2 の遊技領域とに区画形成する入賞装置と、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球の前記第 1 の遊技領域内への進入の確率が高くなるように動作可能な可動片と、前記第 2 の遊技領域に配設される始動口と、を備え、前記第 2 の遊技領域に打ち込まれた遊技球が前記可動片による動作を通じて前記第 1 の遊技領域内に進入し、該進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられたとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う遊技機であって、

前記始動口に遊技球が受け入れられたことを検出する始動口検出手段と、

前記始動口検出手段による検出に基づいて前記可動片を駆動制御する可動片制御手段と

、前記第 1 の遊技領域内に遊技球が進入したことを検出する第 1 の遊技領域検出手段と、

前記第 1 の遊技領域内にて前記特定入球口へと向かう遊技球に作用可能に設けられる作用部材と、

前記可動片制御手段による前記可動片の駆動制御に伴って予め設定された駆動態様で前記作用部材を駆動制御する作用部材制御手段と、

前記第 1 の遊技領域内に進入した遊技球が前記特定入球口に受け入れられたか否かを検出する特定入球口検出手段と、

前記可動片制御手段により前記可動片の駆動制御が開始されてから所定時間が経過するまで前記特定入球口検出手段による検出を有効に扱う有効期間を設定する有効期間設定手段と、を備え、

前記可動片制御手段は、少なくとも前記作用部材制御手段により前記作用部材を駆動制御するタイミングで新たに前記可動片の駆動制御を開始することがなく、

前記有効期間設定手段は、前記第 1 の遊技領域検出手段による検出がなされたときに第 1 の有効期間を前記有効期間として設定する一方、前記第 1 の遊技領域検出手段による検出がなされないときに前記第 1 の有効期間よりも短い第 2 の有効期間を前記有効期間として設定するものであり、

前記作用部材制御手段は、前記第 1 の有効期間内に前記予め設定された駆動態様による

前記作用部材の駆動制御が終了されるかたちの動作スケジュールに基づいて前記作用部材を駆動制御するものであり、前記第１の遊技領域検出手段による検出がなされないときに前記第２の有効期間の経過に伴って前記動作スケジュールを強制的に終了させる駆動終了制御を実行することを特徴とする遊技機。

【請求項２】

前記有効期間設定手段は、前記可動片制御手段により前記可動片の駆動制御が終了された後、前記第１の遊技領域検出手段により検出され得る最大の時間が経過するまでを前記第２の有効期間として設定することを特徴とする請求項１記載の遊技機。

【請求項３】

前記作用部材制御手段は、前記第１の有効期間内に前記特定入球口検出手段による検出数が前記第１の遊技領域検出手段による検出数と一致したとき、当該第１の有効期間を終了させるとともに前記動作スケジュールを強制的に終了させる駆動終了制御を実行することを特徴とする請求項１または請求項２に記載の遊技機。